

アクティブラーニング型授業としての 反転授業

- 日時 2022年9月12日(月) 10:30~12:00
- 講師 角田 和巳教授
(芝浦工業大学 工学部 機械工学科)
- 会場 Zoomによるオンライン開催
- 対象 学内教職員、非常勤講師、大学院生

企画趣旨

教育におけるICT化が進み、授業外の学習時間の増加、教育の質向上等に有効とされる反転授業が改めて注目をされています。また、現在多くの大学で行われているオンライン教育への取り組みは、今後反転授業を展開していく契機となる可能性もあります。

今回のFD・SD学習会では、芝浦工業大学の角田 和巳教授をお招きし、反転授業を中心とした授業設計の考え方、事前学習教材を準備するときの留意点などについてご紹介をいただきます。

反転授業に関心のある方、ご自身の担当科目に反転授業を取り入れてみたいと考えている方は是非ご参加ください。

申し込み方法・問い合わせ先

下記URL等からお申し込みください。

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZkdempRt8rGNHICNynTwoezPTxelDoDzI>

※お申し込み後、参加方法の詳細が 自動メールにより送付されます。

《お問い合わせ》

名城大学 大学教育開発センター

TEL: 052-838-2032 (内線: 2659)



第17回 FD・SD 学習会 実施報告

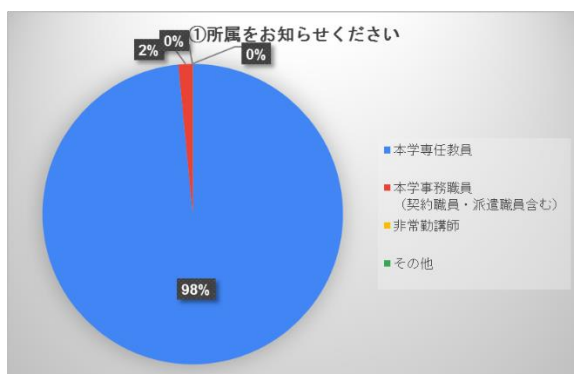
1. 実施概要

- 日 時：令和4年9月12日（月）10：30～12：00
- 場 所：Zoomによるオンライン開催
- テ マ：アクティブラーニング型授業としての反転授業
- 講 師：角田 和巳教授（芝浦工業大学 工学部機械工学科）
- 参 加 者 数：108人（専任教員100人、事務職員8人、大学院生0人、その他0人）

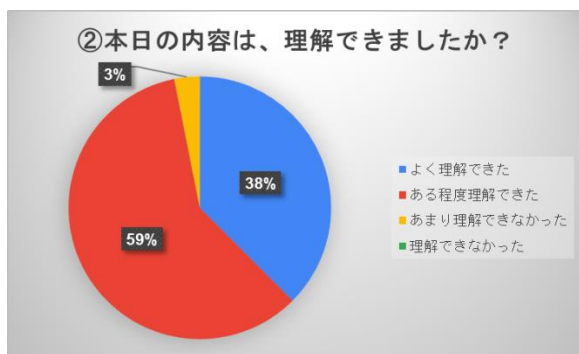
2. アンケート方法等

- アンケート方法：Google フォーム
- 質問項目：以下のとおり
 - ①所属をお知らせください
 - ②本日の内容は、理解できましたか？
 - ③本日学んだことを、学部や個人の教育活動に活かしてみたいと感じましたか？
 - ④本学習会の満足度について教えてください
 - ⑤講演の感想をお聞かせください
 - ⑥何が決め手となって、この学習会に申し込みをされたかお聞かせください。
 - ⑦テーマ、ご希望の講師（学内外問わず）について、ご意見ご希望がありましたらお聞かせください。
- 回答者人数(質問①～④)：65名
- 質問⑤～⑦について主な意見のみを示しています。（※一部抜粋・改稿を含む）

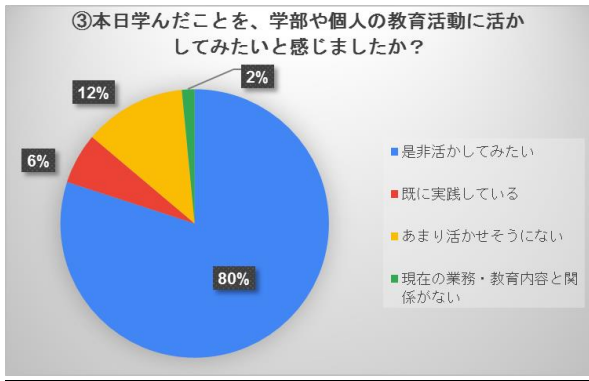
3. アンケート結果



①所属をお知らせください	
本学専任教員	64
本学事務職員 (契約職員・派遣職員含む)	1
非常勤講師	0
その他	0

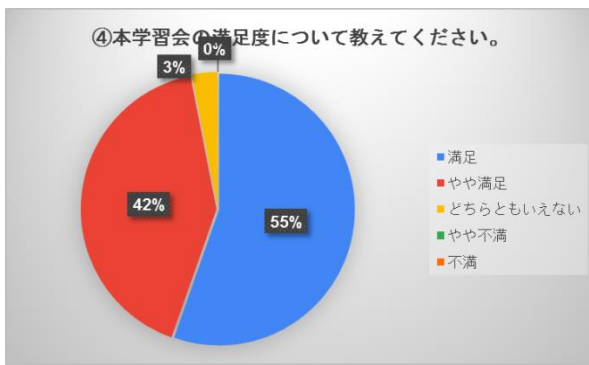


②本日の内容は、理解できましたか？	
よく理解できた	38
ある程度理解できた	27
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0



③本日学んだことを、学部や個人の教育活動に活かしてみたいと感じましたか？

是非活かしてみたい	52
既に実践している	4
あまり活かそうにない	8
現在の業務・教育内容と関係がない	1



④本学習会の満足度について教えてください

満足	36
やや満足	27
どちらともいえない	2
やや不満	0
不満	0

⑤講演の感想をお聞かせください

- 学生の理解度向上という点では非常に有益であると考えます。
- わかりやすかったです。
- 授業で活用できる新しい手法を学ぶ事ができたのでよかったです。
- どうしても教員側の負担増がネックで実施できなかったが、これまでに撮り貯めた授業動画を反転授業に活かすという発想は良いと思った。前向きに考えてみたい。
- とても理解しやすい講演で、質疑でのお答えも含めまして、今後の講義に参考になりました。
- 具体的な例を見させていただき、わかりやすかったです。参考にさせていただき、少しずつ取り入れていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 一部の演習授業で採用していますが、前向きにやらない学生への対応がまだまだ来ていません。
- 反転授業の実例を知ることができたのは良かったです。
- 反転授業の設計に必要なことがらについて、実感を持てるよう説明してもらえてよかった。
- とてもわかりやすく勉強になった。試みるときには参考にさせていただきたい。
- とてもわかりやすく授業を進める上で参考になりました。
- 参考となる内容が多く有意義でした。
- 貴重な機会をありがとうございました。
- 非常に参考になりました。理工系基礎科目では「知識の伝達」が重要なので、反転授業をどう設計するか大変興味があったのですが、多くの疑問が解消できました。
- 非常に有意義な情報をありがとうございました。
- よく理解できました。
- 反転授業の考え方及び実際の方法について具体的に学ぶことができました。大変参考になりました。
- 反転授業は、全授業回ではなくとりあえず1回だけでも導入可能なことがわかったのが有益でした。

- 講演そのものに対する感想ではないが、参加者のマイクがオンになって聞き苦しい時があった。内容的にも全教員に知られてはいけないことであったように思う。こうしたトラブルは、ウェビナー形式での開催にするか、ミーティング形式をとるにしても、参加者のミーティング参加時にマイクがミュートになるよう設定いただければ避けられると思う。
 - 再度、続編があれば聴講したい。
 - 反転授業について気になることがうまく解説されていて助かりました
 - 反転授業の具体的な構築の仕方についてイメージすることができました。ただ、文系の大講義においてそれがどのくらい可能なのかといった点については考える必要がありそうです。おそらくはICTをさらに活用する必要があるのでしょう。
 - 予習テストというかたちでなんちゃって反転授業を実施していました。今では過去の講義動画を一部公開しています。いざ、対面授業で対面でなければならぬ講義とは？と考える機会をいただきました。
 - 説明が非常に具体的でわかりやすかった。
 - 効果的な学習活動だと思います。勉強させていただき感謝しております。しかし、私の現実の授業への導入においては、更にいくつかの工夫などが必要と感じております。
 - けっこう準備や労力が大変そうだが、来年度の授業から導入してみたいと感じた。
 - 反転授業の具体的な実施方法について理解できました。ゼミ単位の少人数ではビデオは使わないにしても似たことはやっているように思いますが、通常の講義の場合はなかなか難しいところがあるとも感じました。
 - コロナ禍により従来の授業形態が制限され、やむを得ず取り入れた「動画による予習+対面での実地」という形態が有効な教育手法の一部であるという点で疑心暗鬼に進めていた授業にやや安心できた。
 - 反転授業についてデータとともに詳細に教えていただき、大変有意義でした。ありがとうございました。
-
- 学生に興味をどのように持たせるか？学生にどのようにして効率的に学習するのか？が問題ですね。
 - ビデオ作成時の苦労やポイントなどのリアルなところをもう少しお聞きしたかったです。
 - 反転授業の概要について知識がなかったため、とても勉強になりました。
 - まさに反転授業について知りたいと思っていた内容が具体的かつ非常にわかりやすくまとまっていた待望の講演会でした。同じ理系として非常に参考になった。
 - とても参考になりました。どうもありがとうございます。
 - 反転授業の実施方法やその効果について、大変分かりやすかったです。
 - 私が現在担当している科目は反転授業とは相性が良くないように思えた。一般的に、授業内容において学生が思考する余地が多い科目ほど反転授業の効果が大きそうに思えた。
 - 反転授業の効果については理解できたが、講義以外の他の業務もあり実践には負担が多い。
 - 最後の質問へのご回答を含め、実際の運用例や学生の取り組み度合いなど具体的なお話があって、大変参考になりました。ありがとうございます。
 - 講演で聞いた方法を実践できれば理想だが、時間負担（教員だけでなく学生も）を考えると難しいのかなと思う。多くの教員が講義に追加してビデオ聴講を要求すると、時間が足りなくなると思う。15回を半分対面、半分遠隔ならできるだろうが。
-
- 興味深いお話しでした。9割近くが予習してくるとのことでしたが、本学のように学生に分布が幅広い場合、講義で対象とする学生の学修意欲、学力に合わせた形にしないと難しい仕組みであること、さらに学生数が多く、科目数が多い場合については教員負担が非常に多くなりそうなので、やり方をしっかり考える必要があることも分かった。
 - 講演でお示しいただいた授業形態については高い教育効果が期待できると思います。ただ、担当者によって授業形態が異なると学生が戸惑うので、学部全体で導入するなど、学部の方針を示す必要があるように感じました。
 - 反転授業のことが分かり良かったと思います。
 - 反転授業の効果について、再認識することができました。

- 現在の所属学生は、コロナ禍につきオンデマンド・オンラインの受講や LMS の操作に慣れている（そうせざるを得なかった）世代であるため、反転授業も導入しやすい状況かと考えます。一方で、今後の入学生、つまりほぼ全科目を対面講義で受講する世代では、操作面に関する個別の質問の増加が懸念されます。これらにもできるだけ対応したいと考える反面、個々の教員が、多数の受講生に対してきめ細やかなサポートを行うのは限界もあるかと考えます。操作面の質問は共通項目が多いのではないかと考えられますので、長期的な視点で、大学としてのサポート体制の構築について、ぜひご検討いただけましたら幸いです。”
- ” 質の高い授業動画が簡単に視聴できる時代になった今、講師の先生がおっしゃっていたように、「わざわざ教室に来たからこそ学ぶことができる授業」を設計していくことは、もはや避けられないことだと思います。優秀な学生に選ばれる大学になるためには、反転授業・アクティブラーニング型授業は「できたら良い」授業ではなく「当たり前」となる必要があります。
- しかし、依然として、従来型のいわゆる「一方的な知識伝達型」の講義はまだ本学でも多い現状があります。その大きな理由として、教員は「研究業績」で評価される割合が非常に高い一方、「授業」は教員の評価でのウェイトが低い点が挙げられます。そのため、授業の質向上に時間をかけるよりも、むしろ授業になるべく時間を取られないようにして、いかに研究を進めていくか？が教員にとって重要な命題になっています。学生の授業評価も、教員の自己評価チェックも、教員全体の評価としては大きな影響を与えていません。授業への取り組みが教員の評価にダイレクトに効いてくるような仕組みになると、本腰を入れた取り組みになるのではと思います。
- 今回の講師の先生は、反転授業の動画作成、予習のノート提出に対する添削、欠席者用の授業動画の編集などを行っているとのことでした。それほど授業に時間をかけることが自分にできるだろうかと不安になりました。スクラップ&ビルドで、授業に対する質を向上させる取り組みを進めるならば、それにけることができる時間を、研究へのエフォートを減らさずに確保できるような仕組みづくりも必要だと感じました（例えば、会議の回数や時間を減らす、オンライン化する、メールベースではなくチャットベースで教職員とのやりとりができるようにする、など）。
- また、今回のような FD 研修会に参加してこない先生こそ問題で、大学全体としては、その先生たちの授業力を高める必要があると思います。学生の授業評価と連動した研修の仕組みなども検討する必要があるのではと思いました。
- また、授業の質向上に関して意欲のある教員が、気軽に情報交換をしたりできる場があると良いと思いました。例えば、フェイスブックのような SNS のグループを活用したり。
- 最後に、オンラインでの研修会を企画して下さいありがとうございます。今後も、オンライン（またはハイブリッド形式）での研修ですと、色々な仕事の合間にも参加しやすく、とても有難いです。
- ”ご自身での運用事例についても示され、非常に有意義な講演だったと思います。このような講義を実施するためには、単独では負担感が強くなるため、どのように導入していけばいいのだろうというところが一番の疑問でした。
- 何かしらの強制力を持って実施を加速するという点については学科、学部、大学としてどうやって行くのが重要だと感じさせられました。”

⑥何が決め手となって、この学習会に申し込みをされたかお聞かせください。

- メールでの案内。
- 年々学生の成績が低下していることを危惧しているため
- 反転授業導入の検討に係る情報収集
- タイトル
- いつも学習会に参加しようと思っています。
- 反転授業への関心・興味
- 以前から反転授業に興味がありましたので、申し込みました。
- アクティブラーニング
- 反転授業について知識が十分でなかったため
- 効果的な教育方法に関する情報収集

- 反転授業についてどのように進めたらよいかを知りたいと思っていたので。
- テーマに興味がありました。
- Zoomなので自室から参加できる。テーマが自分の興味に一致した。
- 今後の講義の有り方、進め方に活かすため
- 反転学習の導入を検討しているため。
- アクティブ・ラーニング型の授業に興味があり、私の理解では反転授業もアクティブ・ラーニング型の授業の一つだったので、申し込みをさせていただきました。
- 大学教育開発センターからの案内
- 反転授業に興味があったから
- 自分が教育改善委員になったことと、反転授業というキーワードに興味があったこと
- 反転授業に関心があったためです。
- 反転授業についての知識がなかったので理解を深めたかったから。
- 学習会のテーマに関心を持ったため。経済学部の大学教育開発センター委員として、必要な知識を得るため。
- 時間的な余裕があったから。
- コロナへの対応に応じた講義の在り方、検索すれば多くの知識が得られる状況下での講義の在り方について考える必要があると感じているため。
- 理工系+座学の授業で反転授業やアクティブラーニングを行う方法を知りたいと思い、参加しました。
- 反転授業についてほとんど知らなかったため、どのようなものか知りたかった。
- 反転授業の具体的な例を知りたいために申し込みをしました。
- 反転授業をいつかは導入してみたいと思っているため。
- 反転授業について学習するための機会になるため。
- 反転授業について興味があったため
- 反転授業にもともと興味があった
- アクティブラーニングとしての反転授業について、どのようなものでどのように実施しているのかが分からなかったので参加いたしました。
- 教員のFD・SD活動実績が克明に提示される点。
- 反転授業について理解を深めたかった。
- 以前から反転授業には興味があり、できれば自分の授業でも取り入れたいと考えていたため。
- 前から関心はあったが、講義が無い期間なので予定が開いていたため、参加した。
- 10年ほど前に海外の大学で行われていた反転講義からどのぐらい改善されてきたのかを知りたかったから。
- 反転授業の具体的なところを知りたかったため。
- アクティブラーニング型授業としての反転授業に関する知見を得るため。
- 近い分野の先生における取り組みを伺えると思ったため。
- 今回ご紹介いただいた反転授業に近いものを自分の科目で実施しているが、あまり効果がみられなかったため、成功例についての情報を得て、参考にしたいと考えたから。

⑦テーマ、ご希望の講師（学内外問わず）について、ご意見ご希望がありましたらお聞かせください

- 障がい学生支援等のインクルーシブ教育について
- 企業が大学に何を求めているのか（採用に関連し）
- 高校生までの情報教育が進められているはずですが、実際にはPC慣れしている学生と慣れていない学生の差が大きいです。実態はどのようなものなのかわかる講演があれば聞きたいです。
- 私も知らない学習方法等が多々あると思いますのでそれを紹介して頂けると助かります。
- 学習用のビデオや教材作成の具体的なスキルや、作成するために使えるソフトの紹介など技術的なハードルが下がるようなお話を伺ってみたいです。
- 現在の高校教育の方針等と高大連携についての講演が聴きたい。入学生の雰囲気や受講態度が年々変わっていくのが感じられるが、それに対しての教員の対応を逐次アップデートする意味でも、高校教育の現状

を知りたい。

- SARTRAS への利用報告は、どのように行われたのか（具体的な動き・運用）。
- “1) 今回の研修も、アクティブラーニング型や反転授業型で実施できないでしょうか。研修を行ったものの、一体どれくらいの参加者が能動的に学んだかは疑問です。「教員が何を教えたか？」ではなく、「学生がどう学んだか？」が求められる中、本日の講義も、一方的な知識の伝達型になっており、もっと能動的に学ぶ仕組みが必要だと思います。
- 2) 海外の大学に勤務されている日本人の先生に、海外の大学の授業や教育の仕組みや取り組みについてお聞きしたいです。”

以上